

品川支部

令和四年6月1日発行
支部編集部
品川区東五反田1-8-5
TEL 3442-7075

6月

発行責任者 天理教品川支部（豊英分教会内） 栗原薫 編集

三年ぶり 全教一斉ひのきしんデー

四月二十九日、昼前から雨の予報の中、三年ぶりの全教一斉ひのきしんデーが大井の通称「なぎさの森公園」で開催されました。

受付では、コロナ対策としてペン型のアルコール除菌スプレーや除菌シートが配られ、新支部長の挨拶、表統領様からのメッセージ掲示、少年会の会員による宣言等で開始となりました。

新型コロナが少し治まりを見せてきた中で、昼前からの雨の予報でしたが、スタッフの心配をよそに、九十二名の方の参加を頂きまして久しぶりに会った人の集まりが喜びの輪になっていました。

雨の都合で、終了時に配る予定であったおにぎりやハンバーガーを先出しにして、短い時間になりましたが楽しい時間を過ごすことが出来ました。



海浜公園ひのきしん会場

☆支部行事のお知らせ

・支部例会（二十九日伊豆大島での移動例会）
今月は移動例会につき一般参加は有りません

・今月の幹事会は

都庁提出書類の都合上会場は

日本橋大教会で五時からになります

・神名流し

一日 大井町駅前まで再開しています

在宅センターひのきしん

二十七日に行います問い合わせは水豊田迄

・教区ひのきしん

担当は本品組です

今月から参加は一人と言う事です

☆教務支庁からのお知らせ

・新教区長始め、新教区役員決定

教区長には本理世大教会長の入江先生就任
教区室長には寺門先生、次長に都南分教会
西海先生という布陣でスタート

布教部の部長に日本橋大教会長中臺先生
教務部部长に本荏大教会長田中先生、
田中先生は災害救援ひのきしん隊の責任者
も兼任と言う事で、品川支部からは多くの先
生が役職に当たられます。

・教区、全体会議の紹介

教区長の挨拶とお話

表統領より挨拶があり、真柱様が年頭の挨拶の際に「今から四年後の立教百八十九年に教祖百四十年祭を勤める」旨を述べられた事に触れ

来年一月二六日から始まる三年千日をどのように勤めるかと言う事が、一番の関心事であり今年はその準備に入る大変重要な年であると言う事から「みちのとも」六月号に表統領・内統領の記事が掲載される。

内容は

① 教祖の年祭を勤める意義について

② お預かりしている教会の現状をしっかりと把握する。自分自身の信仰がしっかりと教祖を向いているだろうか

③ 年祭活動に向けての心構えについて

この三つのテーマでのインタビュー形式での記事であり、みちのとも六月号の記事を全教会長にしっかりと読んで頂くように
三年千日の年祭活動の心構えは明るく、勇んで、三年間を続けて通る。という事。

このように主事、支部長で構成の全体会議では、冒頭に本部で頂いた話の趣旨を伝えて頂き、教区長の思いをお話される事が恒例となっています。この後教区長室、各部、各会からの報告を頂き、意見を交わすとなります。

時報手配り六月予定

手配りが再開されます
無理のないよう協力願います

拠点教会	1日号	8日号	22日号 15日号と合併	29日号
日本橋	直送	直送	手配り	手配り
本荏	直送	手配り	手配り	手配り
都南	直送	手配り	直送	手配り
三ツ木	直送	手配り	手配り	直送
水豊田	直送	手配り	手配り	手配り

品川支部例会

今月は29日（水）の移動例会になります、通常の形式の例会は有りません。

次回7月は、豊英分教会の会場で行われます。

例会は毎回会場を変えて、お住まいの近くの方に参加して頂きやすいよう行われております。

お近くの会場の折は是非ご参加頂きますようお願いいたします。

****尚,変更の場合は22日迄に教会に通知致します**

頂いた『虎の巻』

鶴平分教会



昭和から平成、そして令和の時代に入し、四年目になります。

私は平成五年、前の会長から教会を引き継ぎ会長に就任いたしました。

思いもよらず一月のお運びから半年後、前会長の急逝という大きな節が始まり、二十九年の歳月を過ごしたことになります。

その間、支部から青年会の委員長の拝命致し、加えて城南ブロック(品川・目黒・荏原・大森・蒲田・大田調布支部)の代表として、教区青年会の活動に従事させていただきました。

当時は今とは違い、携帯電話もありませんし、常に足を使った対面での行動で、お陰様で若い道の青年会・女子青年会は盛り上がり、おつとめ総会や殊にハートクリーンの活動を啓蒙した事が特に印象に残っています。

小学生の頃は品川支部に於いては、先輩先生方が昭和四十年頃に『若潮会』という会を作り、教祖八十年祭前後の地域活動、いわゆる現在の青年会・女子青年少年会を含め熱心に活動されておりました。

当時私も、本荏大教会の鼓笛隊に短い時間でありましたが、練習に参加させて頂き、大井町線の道で日本橋大教会・都南分教会・本荏大教会などの鼓笛隊で行進させていただきました。又ある時は、現在の『きゅりあん』の前身、品川公会堂で『茶つきり節』をカスリの着物を着て、舞台上に上がった覚えもあります。

その他にも『赤い羽根共同募金』や駅周辺を組むことに路傍講演、パンフレット配り活動のお手伝いをした事など、沢山の幼少期の思い出があります。

その後、平成に入り青年時代の活動では、各教会の後継者、青年会・女子青年の方々を募集するに当たり、支部の今は亡き先生方からの応援を随分頂いたものでした。

そんな中でも厳しいと感じる事も有りました。

私が幹事会に末席におりますと、ある先生から「ここは漢字会(幹事会)でひらがな会(青年会)は最後に連絡報告せよ」等と茶化された記憶があります。そう、今考えると愛のムチですね。

そういった先生方にお世話になった事柄は数えきれませんが、特に明治神宮での『全教一斉ひのきしんデー』や更に記憶に残るのは、デザインランドでの一万人献血という大きな目標を達成する事が出来た時のことで、先生方の大きなご援助のお陰でありました。

本当にその頃は先生方も前述させて頂いた事を初めに盛り上げて下さいまして、他にも品川支部での総会会場や例会会場、はたまた荏原支部・目黒支部・大森支部などの会場も先生方のお言葉で苦勞なく気持ちよく使わせて頂くことが出来ました。

その時期に、経験させて頂きましたことや、いろいろのお教会でお話し頂きました。

た会長様や役員先生のご教理は、頭だけの信仰だった私にとって、自身の大切な『虎の巻』になっております。

現在の閉塞感のある時代、昔の話を語ることは、新たな道を進む者にとって自分を見直し、方向を教えて頂ける大きな力となっております。

先人先生の信仰信念を今一度振り返り、少しでも『いちれつ兄弟姉妹』としてや道の中の兄弟姉妹者ではございますが先生方にならぬ、後進の方々にロマンを語れるよう努力を惜しまない覚悟でおる最中です。

鶴平分教会長

平林典道

